

令和4年度 湖西市防災会議 議事録

- 日 時 令和5年1月25日(水) 14時00分から15時00分まで
- 会 場 湖西市役所 3階 委員会室
- 出席者 会長及び委員 計22名のうち22名
- 傍聴者 中日新聞社
- 議 題 ・令和4年度 湖西市地域防災計画修正(案)
・意見交換

(司会：危機管理課参事)

定刻となりましたので、ただいまから、令和4年度湖西市防災会議を開催いたします。

本日は大変ご多忙の折、湖西市防災会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。私は、本日の進行を務めさせていただきます。危機管理課参事の山田です。よろしくをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が再度拡大している中ではありますが、防災会議を執り行う運びとなりました。迅速な進行に努めますので、ご理解とご協力をお願いいたします。はじめに、湖西市防災会議会長であります、影山剛士湖西市長から挨拶申し上げます。

(市長挨拶)

改めましてみなさまこんにちは。湖西市長の影山剛士です。

本日は、令和4年度の湖西市防災会議ということでご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、今日は大変寒い朝となりまして、全国では雪が相当積もったり、車が立ち往生したり、大変な状況のところもあると報道などもされておりました。湖西市では、幸い道路などの凍結はほとんどなくて、事故などは聞いておりません。ただ、水道の凍結があり、今日、朝倉さんもお見えですけれども、市内の水道事業者さんのところに一社で10件のお問合せというか、凍結のご連絡があって、修繕だとか含めて、そういった事業者の方もあったと聞いております。気温が朝とか夜中の頃よりはましですけれども、まだ、気温が上がらないと聞いておりますので、ぜひ、皆様のご健康や道路も含めてご注意を引き続きいただければと思っております。

さて、今回、防災会議は、昨年がコロナの関係で書面での開催とさせていただきましたので、対面での会議は2年ぶりとしてさせていただきました。また、もちろん、この防災会議以外にも、日頃から、皆様には防災面、危機管理面、また、防犯含めて様々な形で、湖西市政へのご協力に感謝申し上げたいと思っております。

今回は、サーラエナジー(株)さんが、前回の会議からメンバーとして加わっておりますので、引き続き、活発なご議論をよろしく願いできればと思っております。

昨年一年間に関しましては、コロナはもちろんですけども、静岡県で言いますと、台風15号ですね。これは、皆さんもご記憶に新しい方もいらっしゃるかもしれませ

んが、湖西市内では、幸いにも人的な被害はありませんでしたけれども、清水や磐田など、様々なところでまだ復旧作業続いているところもあります。残念ながら、県内でも死亡者が複数ということもありました。湖西市内でも、人的被害はなかったものの、倒木や道路に土砂が入り込むなど、河川の氾濫というか越水みたいな、川を超えてしまったところも、市内では複数ありましたので、そういった被害が、台風15号でも大きかったということで、やはり防災、災害を減災するとか、もちろん何も無いことが一番ではありますが、様々な形で、平時から備えをしておくということは、何よりも大事になってこようかと思っております。ここに今日ご参加の皆さまは、市民活動であったり、電気、ガス、水道といった基本的な市民生活のインフラ、また、鉄道など、様々なインフラを担っていただいている皆様方ですので、それぞれのご知見をいただきながら、よりよい湖西市の防災、減災、市民生活の安全、安心につなげていけたらと思っております。

湖西市は、昨年が市制50周年ということで、様々な未来につながる記念事業を行わせていただきました。トヨタ自動車さんから、トヨタの豊田章夫社長の子供たちへの授業も行っていただきました。新しい、湖西市のマスコットキャラクター、「うなぼん」も登場しました。昨年一年だけではなく、今年の51年目、また、10年後や20年後、50年後に向けて、持続可能な市の発展を目指していけたらと思っております。その中でも、やはり市民生活の安全、安心が第一でありますので、ぜひ、皆様には、本日の会議もそうですけれども、引き続きのご理解とご協力をお願いできればと思っております。

本日は、地域防災計画の修正につきましてご審議等いただき、また、直近の湖西市の防災活動等の意見交換をさせていただければと思っております。なるべく、コロナ禍ですので短時間で進行させていただければと思いますので、どうかご理解と進行へのご協力をよろしくお願い申し上げます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

(司会：危機管理課参事)

ありがとうございました。

本来でございましたら、ここで委員の皆様をご紹介させていただくところですが、会議を迅速に進めさせていただくため、お配りした出席一覧表に代えさせていただきます。ご了承ください。

なお、審議終了後の意見交換用の資料につきまして、各席に配布させていただいております。

なお、事前に送付させていただいております、湖西市地域防災計画の修正の資料をお持ちいただいておりますでしょうか。もし、お持ちいただいていない方がおられましたら、お申し出ください。

発言の際には、お手元のマイクのスイッチを押してからご発言ください。マイクのな

い方におかれましては、事務局よりマイクをお持ちいたします。

【次第3 審議事項】

それでは、ただいまから会議に入ります。本会議の議長は湖西市防災会議条例第3条の規定により、防災会議 会長が当たることとなっております。

これからの進行につきましては、影山会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(議長：市長)

それでは、皆様よろしくお願いいたします。議事次第に従って進行させていただきますので、円滑な議事進行にどうかよろしくお願いいたします。

今回の審議事項といたしまして、次第にもあるとおり、議案第1号、「湖西市地域防災計画の修正案」につきまして、ご審議をお願いしたいと思っております。

事前に、資料をお送りさせていただいておりますけれども、内容につきまして、まずは、事務局の方から説明をあらためてお願いします。

(事務局)

<修正案についての概要説明>

(議長：市長)

ありがとうございました。それでは、委員の皆様からご意見やご質問等をいただければと思います。ご意見やご質問等、計画に関して修正案含めて、字句の修正等なんでも結構ですのでご発言のある方は挙手等いただければと思います。よろしくお願いいたします。

(委員：消防長)

湖西市消防長の山本でございます。一点だけ要望といいますか意見ですけど、皆さんの資料の共通3章8ページをご覧いただきたいと思います。安否不明者、行方不明者及び死亡者の氏名等の公表に関することでございます。熱海市の消防長にも、土砂災害の時に公表があったおかげで非常に有効であったという話を聞いております。自分が考えますには、このような大規模な災害以外にも、火災であったり、車両の事故であったり、様々な事故が日常茶飯事発生しているわけでございます。そうした中で、こういったことをすべて公表してもいいのかという考えがあります。社会的な影響を考えますと、地震であるとか、津波であるとか、土砂災害等、広域に及ぶような場合、こういった場合に公表は非常に有効だと思いますが、局所的な災害の場合、すべてを公表してしまいますと、非常に社会的な影響が大きいのではないかと考えますが、いかがでしょうか。以上です。

(議長：市長)

ありがとうございます。主語が市及び県はとなっているので、危機管理監。

(委員：危機管理監)

公表の関係ですが、今回、熱海の件を見ますと、行方不明者の発見であったり、その後の捜索等に、非常に有効であると思います。やはり、事案によって公表、非公表の判断をしたほうがいいと思います。今回、計画にはそのような部分を含めまして載せさせていただいたという形でご理解をお願いしたいと思います。以上です。

(議長：市長)

県に沿って修正しているので、西部地域局か浜松土木事務所かどちらか、お願いします。

(委員：静岡県西部地域局副局长)

西部地域局の榊原です。県の方もやはり、行方不明者、死亡者の公表につきましては、慎重に行うべきだと考えております。やはり、事案によって使い分け、また、公表にあたっては、十分、県と市と調整をした結果を公表するような形になるかと思っておりますので、事務方レベルでしっかりと議論をしながら、公表するような形にしていくべきかと思っております。以上です。

(議長：市長)

ありがとうございます。消防長のご指摘のとおり、実際の熱海の例もありましたので、公表することのメリットもあるかと思っております。ただ、個人情報等もありますので、災害実態等に合わせて、中身をよく見てということによろしいかと思っておりますが、よろしいですか。

(委員：消防長)

はい。ありがとうございます。

(議長：市長)

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

【発言なし】

(議長：市長)

それではほかにご意見無いようでしたら、第1号議案につきまして、ご承認についま

して、異議なしということで皆さんよろしいでしょうか。

「異議なし」

ありがとうございます。それでは、（異議なし）と認めさせていただきます。第1号議案 湖西市地域防災計画修正(案)をご承認いただきました。ありがとうございます。

本日の審議事項は、1件となっております。次第にしたがいまして、4事業説明と意見交換に移らせていただきます。こちらのほうの概要説明を事務局のほうからお願いいたします。

【次第4 事業説明・意見交換】

（事務局）

＜湖西市防災対策事業について説明＞

（進行：市長）

ありがとうございました。委員の皆様からご意見をいただく前に、2、3点だけ補足をさせていただきます。

ハザードマップにつきましては、津波避難施設の空白域が命山や津波避難タワーにより解消されましたので、既にお渡ししているものを更新して最新の情報を盛り込んだものを3月15日に全戸配布するように準備を進めさせていただいております。広報こさいだとかいつもの市役所等からの配布物と一緒にハザードマップを全戸に配布させて頂く予定しております。ぜひ直近のものをこれからご活用いただければと思います。

あとは2点目で、最後から2ページ目にあった、7ページ目、津波防災の協議会ですね、もうすでにこれも各地区でもヒヤリング等させていただいております。やはり、今申し上げた命山だとか、津波避難タワーといった、まずは命を守る逃げて頂くというところに関しては整備が終わっておりますが、次のステップとしての財産を守る、例えば家ですとか工場ですとかそういったものを守る、防潮堤ありきではございませんが、どこまでどのような防潮堤をどの程度の予算をかけて造るのかというところを決めていきたいと思っております。今回各地区で新居地区や白須賀地区といった海に近いところや山側の新所原地区といった様々な地区の意見が市内でもあります。ここを協議会の中で一年かけて、防潮堤をどのくらいのをどこまで作るかということを決めていきたいと思っております。先日第一回の協議会を開催させて頂きましたが、浜松河川国道事務所さんだとか国土交通省さんだとか様々なところから色々なご意見をお聞かせ頂いて、また次に2月ですかね、そこでまた意見を持ち寄って国や県のお力も借りながらどういったものをどれだけ整備するかということをも市民生活の安全安心、財産を守るということを決めていきたいと思っております。

次に最後のページですが、いつも9月1日に湖西市は防災訓練を行っておりますけれども、令和5年が静岡県での防災訓練の当番ということで浜松市さんと一緒に9月3日に県の総合防災訓練を湖西市、浜松市で開催させて頂く予定となっております。ここにある通り、湖西市内の主な訓練会場を書かせて頂きましたけれども、これはやはり市だけでなく地域の皆様、また学校とか病院ですとか様々なところにご協力頂きながら、進めていきたいと思っております。今日ご参加の皆様方にも様々なそれぞれのご知見とか役割をご協力をお願いすることもあるかと思っておりますので、ぜひご理解を頂ければと思っております。ちょっと補足ですみません。

今日ご出席の皆様からも直近の防災活動、危機管理活動に関してご意見をご自由に頂ければと思っております。よろしくお願ひします。どなたからでも結構です。

(委員：浜松土木事務所)

要望なんですけれども、この防災会議では防災計画を審議しているんですけども、この防災計画が現実にならなくなったのかをできれば資料として出していただきたい。具体的に言いますと、台風15号があったときに市では、たぶんいろいろ集まって、もしかしたら災害対策本部を設置して、その後どうしたということ、この計画に基づいて災害対策本部を設置したり、避難所を開設したのかもしれないが、皆さんに知ってもらおうということで実際にどうやったのかということを一覧見せて頂きたい。

もう1つは、先ほど市長のあいさつの中で大きな被害はなかったという話だったが、要は市内の河川のどこで氾濫したとか、道路の浸水で通行止めになりましたという情報を地域の方に知ってもらおうという意味で、地元の代表の方がいる会議でここは大雨が降ると通行止めになるとかそういうのも知ってもらえるということもあると思います。今回は災害が大きかったので、浜松市で4000件くらい床上床下浸水があった大きな災害でして、全ての災害ではないですがそのような災害についてはこのような対応をして、こういう結果になりましたという情報を出して頂けると自分たちも災害の状況が分かりやすいと思うので、そのような資料を結果として出して頂けるとありがたいと思います。

(進行：市長)

はい、ありがとうございます。

所長のおっしゃる通りだと思います。計画の内容だけをご審議頂くよりも、実際のこれだと一年に一回ですけども、どういったことが実際にありましたとか、どのように対応したのかをお示しできればと思います。口頭になってしまいますが、台風15号に関しては幸い、災害対策本部は立ち上げませんでしたので、個別の河川は越えてしまった箇所でも民家に土のうを置きましたとか、倒木を撤去しましたとかは20数件だったかな、台風15号に関してはやはり普通の台風よりは、いつもの台風だと倒木が1件、2件です、道路の冠水が1件、2件なんですけど、件数が多かったものですから、そういったことはこの会議の中でこういったことをやりました、もしくは実態としてこういった対応をしまし

たこういった被害がありましたということをお示しすることができればと思いますので、これは危機管理課の方で宿題とさせていただきます。はい、ありがとうございます。

ほかには、いかがでしょうか。

(委員：西部地域局)

西部地域局です。補足させてください。先ほどの資料の津波避難位置図で、津波避難施設の空白域がなくなったということでした。行政の方はもちろんご存じかと思いますが、関係する住民の方はなかなかご理解できていないのかなと思います。この空白域ゼロというのは実はちょっと条件がありまして、地震で津波が発生してから5分後に避難を開始するという条件付きで空白域ゼロということになっております。空白域がゼロだからといって安心するのではなく、地震が起きたらすぐ避難することがまず大事です。そういった中で、先ほどの計画の説明の中にもありました「私の避難計画」を作成していただき、いつ、どこへ、逃げるかの意識向上が非常に大切になります。西部地域局でも啓発活動を進めてまいりますので、湖西市についても住民の方への啓発活動をよろしく願いいたします。

(進行：市長)

はい、ありがとうございます。

まさにこれは、いつ、どこでというのが普段の職場とか学校なのかというだけではないと思いますので、各ご家庭もそうですし、なるべくこちらとしても普及啓発に努めていきたいと思っております。地域のご協力も必要になってくるかと思っておりますので、自主防さんなんかはほんとはよく色々なところでやってもらっていますが、引き続きよろしく願い致します。

他にいかがでしょうか。

(委員：西部健康福祉センター)

特に湖西市さんに限った話ではなくて、今回の熱海の土石流も人的被害の中でも医療機関にかかるようなケースはほとんどなくて、不幸なことに直接土石流に巻き込まれて亡くなる方がほとんどであった。我々でいう医療救護の観点ではあまり影響がなかったというケースになります。去年、本庁の地域医療課の課長をやっているときに、保健医療計画の策定で、その後の生活支援だとかあるいは被災された方の避難所での生活をどのようにサポートしていくかといったところだとか、局地災害、広域の場合は県が医療面をまとめて担うようになるのですが、局地になればなるほど市の対応が重要になってくるということです。ですから、改めてその認識をこの場でも認識して頂きたいなと思います。

もう一点、先ほども浜松土木事務所の所長さんや西部地域局の副局長から話があったんですけれども、特に大規模災害で、外から受援 DMAT だとか、他の県から他の地域から医療従事者の支援があったときに、一番ポイントとなるのが、それを届かせるための災害拠点病院というのがあるんですけれども、そこに行くためのアクセスの確認だとか、あと

そのことを受援される方々がどれだけスムーズに受入れられるかということが、その資源を有効に配分して、助けられる人を十分助けるということに非常に重要になるものですから、その相互の理解、県なり市当局にももちろん把握した上で、県なり市の災害対策本部から必要なところ自衛隊だとか DMAT 調整本部に情報提供して頂くとともに、市民がさっきあった私の避難計画でしたか、自分達がどこにどうすればいいのかという周知を相互に理解していないと片手おちというか十分に効果が発揮できないのではないかと、お話を伺いながら改めて思ったものですから、それをこういった会議でご認識頂いて各市民の方にお伝えいただければ、より良い救護、より良い防災対応ができるかなと思ったので発言させて頂きました。

(進行：市長)

はい、ありがとうございます。

まさに、おっしゃる通りで、日ごろからですね、そういった医療また介護も含めてですけども、そういったことも大事だと当然思います。

湖西市では年3回ですね、9月1日の防災訓練、そして12月の第一日曜日地域防災の日と、3月11日夜間訓練ですけども、この3回やはりこれは地域でもそうですし、学校等でもご協力いただいておりますし、病院とかではトリアージなど様々な訓練を行っていただいております。また、さっき一番最後のページに今年の9月3日は大規模な訓練をやるということですけども、このあと高柳さんあたりにご発言頂いた方がいいかもしれませんが、こういったこともやってるし、まだまだこういったことが必要だということもあろうかと思えます。またさっき、病院に関して医療に関してありましたけれども、あとは残念ながらお亡くなりになられた場合も含めて、遺体安置訓練なんかもこれはさっきの年3回とは別に湖西警察さんにご協力を頂きながらやっておりますので、やはりことあるごとに周知啓発も含めて、平時から備えをしていかなければと思っております。

高柳さんすみません、振っちゃって。ご意見なり、よく地域防災でやっていただいているので、おっしゃりたいことをもちろん言っていたいただければと思いますがいかがでしょうか。

(委員：湖西市地域防災指導員連絡会)

地域防災指導員連絡会の高柳です。日々市民の方に防災についての、意識の向上をしては頂いているのですが、自主防災会の方いろいろな方から、やはりなかなか地域住民の意識が少ないということで、新居については津波が来るということで避難訓練等について非常に意識が高くて避難場所に避難するということを実際にやってくれているのですが、なかなか津波が来ない地域については、避難訓練に参加をしてくれない。そういう風に聞いていますので、どうやって市の住民の方に意識を持ってもらって防災意識を高める、それをしていかなければと思っております。今回自分、それぞれの家族で防災について避難等も含めて考えていく。ガイドラインも出して頂いたもので、そういうものに沿ってなるべ

く避難訓練に参加をしていただく。

そして、もう一つが、各避難所の担当の地区で自主防災会の方を中心に避難所運営連絡会議というものをやってもらって、避難所運営をどうしていこうということでやっているんですが、なかなか今まで経験したことがないものですから実際にどんなことをしてやったらいいのかなかなか上手くいってないというのが現状です。何箇所か避難所があるのですが、その中でうまく進んでいっている避難所もあれば、なかなか上手くいかないという避難所もあるんですが、なるべくそれを地域の方々の参加を含めた中で避難所運営をどうするのか、今年度も避難所の感染症対策ということで、パーティションを300基ほど購入して頂きました。前回段ボール型のパーティションを購入してありますので、こういうテント型のパーティションも広めていけたらいいと思いますので、まあこういうものも避難所にあるよということを地域住民の方に知っていただく共有方法もなるべく必要ではないかと思います。あと、避難所運営に関してはどうやって地域住民を巻き込んで運営していくか、やはり自治会の方だけでは運営できないですし、両者がサポートして運営していく。実際運営していくのは避難者であるという方針で避難所運営を自主防災会の方を中心にやっているのですが、なかなか地域住民はまだ行政がやってくれるんだろうという考え方を持った人が非常に多いものですから、そういうことを一つ一つ改善しながらやっていきたいなと思っております。なんかやってきたことの説明になってしまいましたが、お願いいたします。

(進行：市長)

大変ありがとうございます。高柳さんをはじめですね、地域防災指導員の皆様には本当に平時からこういった自主防災会だとか地域を問わずですね、色んなところでやっていたいております。まさに、行政だけでは手の届かないところも多いので、大変ありがたいと思いますけれど、やはり地域のお一人お一人の方々が自分事として考えて頂いて行動して頂く、それが何よりも大事ななと思いますので、これは平時から続けていきたいと思えますし、さっき高柳さんからあったとおり、地域ごと地区ごとに全くそのリスクといいますか、懸念状況が違いますので、ちょっと冒頭も申し上げましたけれども、新居とか白須賀のような沿海部は津波から逃げる、そっちの方はまずは避難訓練は参加頂いていますし、逆に山の方新所原地区だとか北部とかに行くと、土砂災害ですとかそういった懸念を仰る方もいますし、災害の危険はないから避難訓練の参加率が低いということもあります。県内では本当に参加率が高いものですからありがたいのですが、大体9月の防災の日なんかは大体1万人単位で参加いただいておりますし、そういった参加率の高さはしっかりやりながら、平時から周知啓発が大事ななと思っておりますし、防災訓練に限らず顔の見える関係ですね、どうしてもコロナでこの3年くらい地域のお祭りだとか社会活動がなかなかできなかったんですけれども、今年度は様々なイベント等も再開させて頂いておりますので、地域で何とか防災に限らず、様々な顔の見える関係を築いていけたらと思っております。どうしても、そこは地域の皆様のお力に頼る部分が多いと思いますけれども、ぜひ防災指

導員の皆さんまた、自主防災会の皆さんと行政も連携を取りながら進めていきたいと思っております。様々な地域の方のお声から、段ボールベットについても、段ボール型のパーティションもそうしたけれども、新しくテント型のパーティションも購入させて頂きましたけれども、各避難所に早期にお送りさせて頂きたいと思っております。ほかにあればお願いいたします。

企業の方どうですか、サーラさん初めてですけど、もし日ごろから湖西市とも、防災協定も豊橋よりも早く結んでいただいて、ありがとうございます。もしあればお願いできればと思います。

(委員：サーラエナジー株式会社 浜松供給センター)

サーラ中村です、よろしく願いいたします。そうですね、では、2つほどトピックス的なことでお話しさせていただこうかなと思います。

1つはですね、エネルギーセキュリティーという面で国際的な情勢だとかご存じの通り、いろいろな関係でですねエネルギーのひっ迫ですとか価格高騰こういったもので皆様には大変ご迷惑をかけております。引き続き我々の方も努力していきますので、そちらの方も暖かく見守っていただけたらと思っています。

2つ目ですけども、冒頭市長からも台風のお話ありましたし、昨今では風水害という面ですと激甚化だとか頻発化だとかいった状況になっているという認識であります。これまでの地震対策に加えて社内的に強化していこうというようなことで、これまで本社部門にあった防災の部署を拡大して現地の事業所にも専門の担当者を置くということで配置をしたところであります。ですので、こういった会議を含めまして、これからまた皆様方のご協力を頂きながら防災の方に努めてまいりますのでよろしくお願い致します。以上です。

(進行：市長)

ありがとうございます。サーラさんは、もちろん地域貢献活動にも大変積極的ですし、あとは消防とか防災だけではありませんけれども、啓発グッズを含めて、クリーン作戦のようなところも随分やっていたので、やはりいそいそ日ごろからですね顔の見える関係、企業としての地域貢献、いらっしゃっている企業の方々もそうですね、補完しあいながらやっていけたらと思います。

はい、他にご意見いかがでしょうか。

せっかくと言ったらあれですけど、台風の話が出たので、やはりここは中電、別に責めてるわけではないですが、台風 24 号のこともありましたので、せっかくですのでこの数年の素晴らしい取り組みを仰っていただければ、皆さんにとって分るのではないかと思うのですが。

(委員：中部電力パワーグリッド(株)浜松営業所)

中部電力パワーグリッド浜松営業所の中村と申します。どうぞ、よろしくお願いいたし

ます。市長からご指名を頂きましたので少しお話をさせていただきます。2018年台風24号では非常に県の西部地区、約7割程度の停電、皆様にご負担ご迷惑をおかけしました。それ以降、アクションプランということで設備復旧の体制とか行政様との連携、情報の発信といったところに全社を挙げて取り組んでいったところなんです。昨年も防災協定を湖西市さんとも締結させて頂いたところでございまして、台風24号以降大きな災害は発生してない訳ですが、9月の23日、24日台風15号県下では静岡市が大きな被害が発生しております。約11万戸の停電ということで、これまでにない送電線の鉄塔が崩れました。降水量が非常に多かったということで、山間の土砂崩れによって鉄塔一棟が完全に折れまして、それに引っ張られてもう一棟がやられたというところでもあります。24日の2時ごろですかね、明け方11万戸の停電が発生しまして、約12時間後99%復旧させたところでもあります。具体的に申しますと、配電用の変電所に入る送電線があるんですけど、それがですね倒れたところを切り離して別ルートで送るということで12時間後には99%になったというところなんです。その後、その1%というのは山間部です、河川の氾濫それから土砂崩れによって、配電柱が非常に多く倒れました。そんなところ、先ほど申しました台風24号では中部エリアでは被害の少ない長野支社から、24日には非常用の電源車を投入しまして、その後被害の少なかった浜松から静岡に人を投入して、電源車を約8台投入して民家が孤立している地域には送電を進めたところでもあります。私どもの営業所としては、天竜地区で230戸ほどの停電がありましたが、なかなか道路啓開というのは難しいところがありまして、関係機関の皆様にも調整をお願いしたところでもあります。

そんなところで今後未然に防ぐというのはなかなか難しいところではありますが、全社総力を挙げて、台風24号以降全国の電力会社の相互協力を進めており、台風の発生のない地域には事前に他県から発生の予想される地域に人を送るということで、全国体でそういった体制を作っているところでもあります。そういったところでよろしく願いいたします。

(進行：市長)

ありがとうございます。

まさに、台風24号を覚えてらっしゃる方も多いと思います。2018年の時には、湖西市内でも最大1週間くらい停電等がありました、あの時に停電の状況だとか、いつ直るのか復旧見込みだとか、といったものが市民の方からも情報が山ほど市役所にお問い合わせ頂きましたし、一番たぶんスマホの充電用の延長コードを山ほど市役所や図書館に、給水もそうですけれどもそういったことがあった、その後中部電力さんでは停電のアプリを非常に迅速に作っていただきましたので、今回10時間くらい静岡市内停電しましたけれどもやはりそういった改善の方は、我々西部地域の市町村長含めて改善状況は大変ありがたいと思っておりますので、ぜひこういった、いざという時のために平時は連携していければと思っております。

時間もそろそろですが、まだまだあればぜひお願いします。いかがでしょうか。

道路啓開の話もさっき出たので、朝倉さんどうですかね、協会としてとういか、建設業

協会としてですね、もちろん普段からもそうですし、こういったところは市の土木だけでは何ともならないところを助けてもらっておりますし、こういった取り組みもぜひ一言頂けたらと思いますが、いかがでしょうか。

(委員：湖西建設業協会)

湖西建設業協会の朝倉といいます、よろしくお願ひします。今市長の方からお話のあった通り、今日皆さん共通していることだと思います。いろいろな地域に帰れば、地域でいろいろな役職につかれていますことと思うのですが、私も協会長という立場でありながら、地元に戻れば組長とかいろいろな役職についておるわけですが、それはそれで防災訓練があれば先頭に立って、近隣の住民の安否を確認していかなくてはいけないという立場です。もし、万が一災害があったとき、何を優先すればいいのだろうかということは思うところでございます。協会長という立場でありながら、家族の安否を顧みずですね、協会長の立場を優先すべきなのか、もしくは仕事に戻ればですね、各取引先のお客様の工場がもし災害に被災された場合に助けて欲しいという風になった場合、私に限らず皆さんが色々役職が重複していることと思いますけれど、そういうものを踏まえて市長にはここにお集まりになられます皆さんが、どういうことを優先してやってっいこうか、僕は正直に今日この会議に初めて出させて頂きましたけれども、じゃあ自分として何を優先すればいいんだろう、どうかこの会議が会議のための会議ではなく、実質あってはいけないこともあります、何かあったときに生きた教材となるような、そういうような会議にさせていただきたいと思ひます。以上です。

(進行：市長)

ありがとうございます。まさに、仰る通りでして、今回こういった様々な業界というか団体の方々に、地域を含めて様々な団体の方々に出席いただいております。それぞれの企業だったり、地域だったりの知見があろうと思ひますので、それを持ち寄って、この計画が実態としてやはり自分事として、万が一の事態に備えるということが何より大事ななと思っております。まさに朝倉さんの建設業協会は、道路だとか清掃美化活動だったり平時の活動も通しながら、地区若しくは協会として顔も見える関係を築いていただいておりますけれども、それはもう、皆さんのそれぞれの団体そうですけれども、この会議をきっかけとして、あとは各団体で話し合う機会や物事を共有したりして、行政も方も周知啓発していければと思ひます。直近ではハザードマップの配布もありますので、そういったところから皆様と意見交換を続けていければと思ひます。ありがとうございます。

そろそろお時間ですが、よろしいですか。

まだまだ振り切れなかった方々もいますが、前向きなご意見をありがとうございました。さっき宿題もいただきましたのでまた行政の方も、改善もしくは次の報告、会議、防災訓練で生かしていけたらと思っております。それでは、事務局にお返しします。

(事務局)

ありがとうございました。

ご承認いただきました令和5年1月版湖西市地域防災計画は、静岡県知事への報告を行った上で製本し、皆様へ配布させていただく予定です。

以上をもちまして、令和4年度湖西市防災会議を閉会いたします。

本日は誠にありがとうございました。